

## 平成 27 年度 第 4 回理事会 議事録

1. 日 時 : 平成 28 年 3 月 12 日(土) 13:00~15:00
2. 場 所 : 弘前大学医学部附属病院 2F 検査部 カンファレンス室  
弘前市本町 53 Tel. 0172-33-5111
3. 出席者 : 小島 佳也、秋元 広之、齋藤 浩治、藤田 絵理子、安田 善一、  
増田 望、斉藤 仁、阿部 浩、佐藤 めぐみ、木津 綾乃、  
高井 重男、奈良 秀則、久保 忠利
4. 欠席者 : 川村 多蔵、木下 純一、三上 ルリ子、野坂 亨治、吉岡 治彦

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に小島会長があたり、書記に佐藤、木津理事が指名され、審議が行われた。

### 【報告事項】

#### 1) 第 3 回理事会議事録報告

資料として配布された『第 3 回理事会議事録』に従って小島会長より報告があり、議事録内容の了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

#### 2) 学術部経過報告

秋元学術部長より、配布資料に基づいて報告があった。

#### 3) 公益部経過報告

藤田事務局長より以下のとおり報告があった。

- ・今年も高校生心電図の依頼が医師会よりあり、人員手配中である。

#### 4) 渉外部経過報告

齋藤渉外部長より特になしと報告があった。

#### 5) 事務局経過報告

藤田事務局長より、配布資料に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・青臨技関連経過報告
- ・北日本支部関連経過報告
- ・日臨技関連経過報告
- ・関連団体経過報告
- ・今後の予定に関して、6 月 5 日に組織強化セミナーがアスパムで行われる。

- ・4月23日に東北臨技代表者会議が山形で行われ、会長が出席予定である。検体採取講習会が平成28年度は仙台で3回開催予定である。

## 6) その他

藤田事務局長より、以下のとおり報告があった。

- ・役員改選について、表彰審査委員を各支部から1人選出してほしい。

## 【議題】

### 1) 定時総会の運営について

藤田事務局長より以下のとおり説明があった。

- ・青森県医学検査学会、精度管理講習会、情報交換会は6月18、19日にむつグランドホテルにて開催予定である。
- ・定時総会役員は現在選出中である。期限は5月までとしたい。  
小島会長より以下のように説明があった。
- ・日臨技定時総会と青臨技定時総会の日程がかぶってしまった。19日に少し時間をとり今後の日臨技、青臨技の方針などを話す予定である。
- ・卒後教育研修会は県医師会館で単独開催する。
- ・会長不在で定時総会は問題ないのかと久保理事より質問があり、小島会長より問題がないとは言えないが過去に会長不在例もあり、学術担当の副会長を代行とし議事運営をする。また会員から出た質問等は各担当理事に回答をしてもらい、できない場合は翌日に回すなどしてなんとかこのまま運営したいと回答があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

### 2) 第43回青森県医学検査学会について

藤田事務局長より配布資料に基づいて以下のように説明があった。

- ・ランチョンセミナーは30分2コマの予定であり、現在2社の申し込みがある。
- ・情報交換会会費は例年通り5千円である。
- ・学会ホームページは4月の公開を予定している。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

### 3) 次年度事業計画案について

小島会長より配布資料に基づいて以下のように説明があった。

- ・検査説明のできる検査技師育成講習会は3年計画で受講者を会員数の1割に目標設定して行っていたが、2年経過した現在ほぼ達成できている状況である。講習会担当者が大きな学会を抱えていることもあり、今年開催は予定していない。

- ・青臨技主催健康展について、今年の開催地候補として八戸を考え三八支部に打診していたが、開催は困難であるとの回答であった。今年の県主催健康展は開催の可否を含め検討中であるが、がん死亡率 1 位返上のための青森県庁がん・生活習慣病対策課への協力として、がん検診を主体とした検査の実施を考えている。これを健康展として行う場合開催は弘前、11 月頃を予定している。
- ・高校生への臨床検査技師啓蒙活動に力を入れたい。弘前大学保健学科と共同で行い、場所は弘前大学医学部附属病院、7 月 23 日(土)を予定している。
- ・現在、会報を年 2 回発行しているが、印刷にかかる費用は 10 万円弱×2 回で年 20 万ほどかかっている。経費削減のためにホームページ上で閲覧、ダウンロードするようにしたい。会報には氏名・所属施設などの個人情報が含まれるため、パスワード制などを考えている。
- ・秋元学術部長より、職場にインターネット環境がない施設は印刷物で対応してもらえるのかと質問があり、小島会長より特別な事情がある場合は、製本などはできないが紙印刷媒体で施設宛てに送付することも考えていると回答があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

#### 4) 次年度予算について

増田理事より配布資料に基づいて以下のように説明があった。

- ・理事会開催時点での中間決算において、時期繰越金は 400 万程度である。青森県技師会の年会費減額に向けてある程度の資金を蓄えているが、パソコンなどの物品の更新にもあてる予定である。
- ・次年度収入予算について検査と健康展の助成金が含まれるため、前年度より増額となっている。支出においては前年度を顧みて検査と健康展にかかる費用として旅費交通費、消耗品、賃借料などを増額した。
- ・会報の印刷をやめるため印刷製本費を減額している。
- ・その他の事項として、今年度より部門長への活動費の支給を取りやめた。そして現在役員への報酬として残っているのが会誌編集委員への 5 千円のみである。公平を期すために平成 28 年度はこちらも一旦取りやめとし、今後役員報酬を支払う場合は規定を定めることとする。
- ・斉藤理事より次のように質問・意見があった。会誌の編集はなかなか手間であり、5 千円という金額が妥当かどうかは置いておくが何らかの報酬があると有難い。また会誌編集は 4 年一期で 24 年に一度回ってくるため初年度が大変である。この期間についても何か代案が欲しい。
- ・小島会長より次のように回答があった。大変なのは理解しているが会誌編集委員だけではなく事務局など他の役職も現在労働報酬はなくボランティアのようなものになっている。有償にするにしても一旦すべてをフラットにし、今後検討を重ねていきたい。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

5)

小島会長より以下のように説明があった。

- ・平成 30 年(2018 年)に北日本医学検査学会が青森で開催される。自動化学会が体育の日であるため北日本学会は 10 月後半、会場は青森市文化会館を予定している。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会 長 印

監 事 印

印